

卷五
四十五

夫	也	也	也
夫	也	也	也
夫	也	也	也
夫	也	也	也
夫	也	也	也

夫也何用也
夫也何用也
夫也何用也



何用也

可者家修皆謀
其書所以得去危而
安適實而壽也
有也頃者友人
所書之
實得來一書名曰
書務書志強備
其

一而書中
取係年
款每備
取世揖
大程美
唐年美
二月武學
仿教

水野文武法



于石書本叙



衛兵要務初版原序

此書ハ本ト故合斯^ス可^キ公ノ需ニ應^シ一
千八百十七年孟^ゴ加^カ拉^ラ軍ノ中央慈^シ比^ヒ順^ニ
隊ノ管中ニ在^テ著^ス所^ニ其目的ト
スル所ハ印度三軍ノ備用ニ供^センカ
為ナルヲ以^テ直ニ其管中ニ就^テ活版
印刷スヘキノ命ヲ受^ケシト雖^モ氏如何
セシ予此時俄ニ急使ト共ニ帰省ノ命

衛兵要務

序

アリテ遂ニ此舉ヲ果ス_トヲ得ズ是時
ニ當テヤ昇平已ニ十九年ノ久キニ至
ルカ故ニ其軍中ニ屬スル年少士官輩
ハ皆ナ其要職タル衛兵ノ科ヲ熟習ス
ベキ機會ニ値_フヲ得ス然レハ則チ
此書ノ欠クベカラザル_ト辨ヲ待タズ
ノ知ルベシ故ニ予今之ヲ袖珍書ノ大
サニ刷出_メ石筆英ヲ附_シ白紙挿入ノ

餘地ヲ留_メ金具ヲ以テ之ヲ縛_レ聊以
テ其提携ニ便ニス若シ其間ニ白紙ヲ
挿入スル_ハ諸説ヲ記_シ諸案ヲ存_シ
且ツ其所在ノ地形位置ニ就テ自己ノ
實驗ヲ載スルニ便ナルヘシ且其圖ハ
一片ノ良布ニ繪_クベシ是其容些少ニ
ノ必ス之ヲ腰囊ニ収_メテ携_{フル}ヲ
得_{ベシト}云爾

寒流營千總官噶都加拉連私識

衛兵要務目次

衛兵大意

職分

任用

內衛兵

外衛兵

哨兵

巡視

衛兵攻撃ニ遇テ事

衛兵要務

英國寒流管千總官

嘻都加拉連斯著

大日本福井藩武學佐教

瓜生寅三寅譯

○衛兵

〔大意〕衛兵ハ三軍又ハ一二配分隊ノ前後左右ニ配置セル小分隊ニノ敵勢ノ近迫運動ノ如何ヲ知テ之ヲ報知シ

以テ不虞ノ襲撃ヲ防ンガ為ナリ
職分ト銳意ニメ怠ラズ者守ノ止メズ
以テ本軍ノ安息ヲ得セシムルハ其職
ナリ若シ或ハ此職ヲ闕カバ精銳有力
ノ軍隊ト雖モ羸弊困迫メ遂ニ瓦解ノ
危ニ陥ルヘシ
任用一兵士ノ身ニ關スル訖百ノ職分
中其肝要ナル一前衛ニ過キタル者ナ

シ蓋シ其掩護スル所ノ兵隊ノ安危存
亡ハ其士官又ハ其裨官ノ注意ト運智
ノ如何ニ關スルガ故ナリ此任ニ在ル
者若シ其見聞警報ノ謬生闕局アルハ
ハ自己ノ身性國家ノ外聞將帥ノ名分
且ツ其社中ノ士官兵卒ノ命運ヲ凶滅
スルニ至ル是ヲ以テ其委任ノ重キ一
是ヨリ大ヒナルハナシ

自注ニ曰ク騎隊ノ年少士官ハ尤モ
屢此任ヲ蒙ムル者ナルガ故ニ殊ニ
此職ニ應スルヤウ能ク其心ニ銘ス
ベシ

其職若ク重大ナルガ故ニ敵際ニ在テ
モ我カ軍隊能ク安全静謐ヲ得テ危害
ニ直ラザルヤウ良計ヲ按シ出シ且ツ
能ク其職ヲ勉勵メ自余ノ危難ハカ所

及已レモ之ヲ避ケルヤウ其策置ヲ考

竅スヘキ一必要ナリ。○衛兵ヲニ種ニ

○内衛兵 分ツ内衛兵外衛兵是ナリ

内衛兵ノ任ハ只夕外衛兵極メテ敵ノ
為ニ困惑ニ遇フ陣營屯所ヨリ出テ
護兵ト成リ以テ之ヲ援ヒ且ツ敵徒
ノ急進ヲ遮テ本軍ニ天幕ヲ拂ヒ輜重
ヲ収テ進出スルノ暇ヲ得セシムルニ

在ルノミ此職ヲ荷フ士官兵士ハカ所
及晝間ハ休息ヲ得セシムベシ騎兵ナ
ラハ其轡ヲ脱シ歩兵ナラハ其負擔ヲ
卸サシム但シ夜間ニハ騎兵ハ半隊ツ
、交番ノ轡ヲ懸テ歩兵ハ急報ヲ聞テ
直ニ進出ノ成ルヤウ用意致シ置クベ
シ
一隊以上ノ外衛兵其距離過遠ニメ唯

が一哨兵ヲ已レガ陣前ニ置クノミニ
テハ其視カ外衛ヲ看守シ難キヲ屢之
アリ然レモカ所及ハ一哨兵ノミヲ用
ト且ツ其地形ニ故障之ナキ片ハ最モ
之ヲ然リトス一哨兵ヲ以テ寺院ノ鐘
樓ニ置ク片ハ其所在高キヲ以テ尚更
利用トス其哨兵ハ前面ノ運動暗号ヲ
看守シ夜間ハ銃放ヲ認メ直ニ之ヲ其

士官ニ報スルガ為ナリ
 諸謬誤ヲ防キ哨兵ハ視線ヲ間違ハル
 ヤウニ兩人ハ樹技ヲ立テ其上ニ一技
 ヲ水平ニ横カヘ之ヲ通シ視テ前百ハ
 哨騎哨兵ハ位置所在ヲ認メシムベシ
 但シ他ハ信地ニ在テモ時宜ニ由リ此
 預防法ヲ用ユル下アリ塔頂ノ炮眼上
 ニ一線ヲ刻シ置ノモ亦々此用ニ供ス

ベシ字傍ニ点ヲ附スル者ハ我師英國
 兵官ヲ余ニ示サ
 所ナリ以下倣之
 夜間ハ假令ヒ近傍ト雖モ連々此衛兵
 ヲリ二人一組ノ巡兵ヲ出ノ外衛兵ニ
 趣カシメ而シテ遅明前最後ハ巡兵ハ外
 衛兵ハ裨長ヨリ夜中諸巡兵ハ其信地
 ニ来リ達シタル時刻ハ記録ヲ受テ歸
 テ之ヲ其士官ニ捧グ士官之ニ由テ諸

巡兵能ク職ヲ務メシヤ否ヤヲ知ルニ
足ル若シ數箇ハ外衛兵アル所ハ皆ナ
悉ク右全様ニ之ヲ巡視セシムベシ若
シ其距離甚ク遠キ所ハ巡兵ノ輩必ス
シモ外衛兵ニ達スルニ及バスト雖モ
夜間數回尚ホ其方角ニ遠ク趣カンヲ
要ス若シ事アルニ於テハ其衛兵ノ士
官騎隊ナラハ其兵ヲ騎馬セシメ步兵

ナラハ各其銃ノ側ニ立シメ直チニ其
趣ヲ將師ニ報告スベシ故ニ凡ソ其職
ニ在ル諸人ハ皆ナ將師ノ陣營所在ヲ
詳カニ諸記セズンバアラス若シ晝間
襲撃ノ劇レキヲ知ラハ士官直ニ其隊
ヲ將テ危難ヲ受ルノ地ニ趣テ之ニ應
援スベシ然レ夜間ナラハ只ク其半隊
ヲ以テ放撃ノ地ニ進ミ他ノ半隊ハ留

ノ置クベシ蓋シ或ハ此襲撃ハ敵ノ詭
計ニノ又夕他ニ不測ノ襲撃起ルヲモ
アラバ直ニ之ニ相ヒ應シ或ハ炮戦連
綿トメ持久シ或ハ本隊カ又ハ其陣寨
ノ方ニ退クト見ルキハ其甲半隊ニ連
結セシメシガ為ナリ心ハ黎明半小時
前ニハ此衛兵ノ士官騎隊ヲラハ其ヲ
ノ騎馬マシメシノ歩兵ハ其銃側ニ立タシ

メ以テ前面ヨリ諸事鎮靜ノ報アルニ
至ルベシ

自注ニ曰衛兵ノ隊勢ハ其所屬ノ軍
隊ノ大小多寡敵徒ノ位置遠近周圍
ノ地形ニ關シ一ナラザル者ナレハ
一二ノ定則ヲ立ルヲ難シ敵ノ強勢
ニ直近スル際ニ當テハ孰レノ大道
上ニモ一馬隊又ハ歩兵一小隊ヲ要

スベシ然レ凡先ツ尋常ノ外衛兵ハ
一大道毎ニ一員ノ從屬士官リユテ
又ハ「エ」ニ三員ノ裨官共四人乃至
サ「イ」ニ 三十人ノ兵士ヲ以テ編スベシ而
此隊ヨリ一裨官ニ六人九人乃至十
二人ノ兵士ヲ附メ前面ニ分出ス哨
兵ナリ然レ凡若シ此裨官附屬ノ分
出隊ニ隊以上モ入用ノ片ハ宜ク其

本勢ヲ増スベシ又タ絶ヘズ一裨官
ト九人乃至十二人ノ兵士ヨリ成ル
小勢ノ隊ヲ以テ大道上毎ノ衛兵ニ
從行交通セシムベシ位置或ハ難キ
トアリテ輕衛兵外衛ト成テ進出セ
ザリシ配分隊ハ皆ナ悉ク内衛兵ト
知ベシ尋常内衛兵ノ兵勢ハ「カ」ヒテ
イ「シ」一員從屬士官出前一員ト兵士四

十人乃至五十人ナリ

○外衛兵

外衛兵ハ前面ノ哨騎哨兵ノ第一警或
ハ其射放ノ後急使飛騎ノ帰り来ル時
ニ當テ本軍ノ戎装ヲ附ケ或ハ兵隊進
出ノ時間ヲ得セシムルニ足ル丈ノ最
近距離ニ排立スベシ然ラザレハ夜襲
ニ遇フ時敵徒此衛兵ヲ潰シテ其潰奔

ノ兵中ニ雜リ我が本軍ニ潛入スルノ
恐レアルベシ

然レモ本軍ヨリ此衛兵ニ至ル迄ノ距
離ニ關ノハ能ク其地形ヲ察スルヲ必
用ナリ山阜林藪ノ土地ハ殊ニ意ヲ用
ユベキナリ

外衛兵ハ凡ソ其勢ノ三分一ヲ一ノ有
為裨官ニ附ノ其前面五六百歩ノ距離

二 出シ 時宜ニ 隨ヒ 之ヲノ 前進哨騎或
 ハ 前進哨兵ノ 任ヲ 務メシメ 而ノ 悉ク
 本衛兵ヨリ 其勢數ニ 應メ 分配ヲ 定メ
 二十四小時間 各兵皆チ 一回ツ、此職
 ヲ 務ムルヤウ 交番救済スベシ ○ 凡ソ
 應接ノ 新衛兵ハ 黎明前 其所属ノ 士官
 之ヲ 呼集 整列シ 時宜ニ 由リ 故衛兵ヨ
 リハ 其整列ノ 地ヘ 一裨官ヲ 送り 其嚮

導者トスベシ 凡衛兵戰隊ノ 都督士官
 ハ 新衛兵ヲノ 凡ソ 黎明半小時前ハ 頃
 故衛兵外 是造ノ 地ニ 達セシメテ 衛兵
 隊ノ 勢數皆チ 悉ク 二倍スルヤウ 意ヲ
 用ユベシ 何者トナレハ 此時 尅ハ 二十
 四時中 第一ハ 危期ナレハ 六リ 應援隊
 ノ 士官ハ 皆チ 能ク 故衛兵ノ 士官ヨリ
 指揮ヲ 受ケ 且ツ 蚤且ノ 間ハ 哨騎哨兵

ノ一二變化ノ如キモ故隊ノ士官自ラ
 来テ其意存ヲ申明ス片ハ宜ク其指揮
 ニ隨ヒ聞クベキヤウ進出前預ノ其上
 官ヨリ命ニ置クベシ然レモ各位哨騎
 哨兵中ノ只一隊ノミヲ變化スルハ
 如何ノ事ニ關ヤス許サバル所ナリ是
 レ他ノ衛兵トノ交通ヲ破ルヲ恐テナ
 リ應援交直ノ兵故衛兵ノ地ニ達スル

片ハ新隊ノ士官其兵ヲノ故隊ノ後面
 ニ戰隊ヲ縮メシノ敵徒攻撃セバ其護
 兵ト成テ努力レ或ハ時宜ニ由リ其翼
 ニ進出スベシ而メ少ナキモ黎明ニ至
 ルマダバ縱令故隊ノ士官ハ其位階已
 レヨリ下ナリト雖モ宜ク其指揮ニ從
 フベシ是レ故隊ノ士官ハ其管地ノ各
 事ヲ熟知スルニ於テハ新隊ノ士官ヨ

リモ勝ルベキ理ナレハナリ
新故兩衛兵共ニ天明了然トナリ或ハ
平且ノ前面巡兵帰り來ル迄ハ騎ハ馬
上ニ在リ歩ハ銃側ニ立チ毫モ其心憤
ルベカラズ而ノ故衛兵ハ新故兩隊ノ
士官中位上等ニ列スル者其前面ノ各
事安靜ナルヲ全ク了決シ且ツ已ニ
黎明ヲ過キテ暫クノ時ヲ徑ル迄ハ必

ス其位置ヲ退クベカラズ其士官ハ宜
ク新隊ノ士官ニ伴ヒ都テノ哨騎哨兵
ヲ巡視ノ新隊士官ノ一々其指揮スル
ヲ聞キ敵ヲ待ツベキ道路地面ヲ了解
明決セシヤヲ見認ムルニ至ルベシ若
衛兵暗ニ反ンテ退クハ新隊士官宜
ク其夜間ノ位置ヲ聞知シ置クベシ○
此職ニ任メ進出スベキ者ハ必ス戦争

ノ初ノニ明カニ之ヲ分配シ置クベシ
殊ニ年少士官ニ至テハ論ヲ待タズ
便道ノ士官ハ能ク其左右兩翼ノ方ノ
衛兵ヨリ出ル哨騎哨兵ノ位置ヲ明悟
メ已レガ隊ヨリ出セシ者能ク之ト交
通スルヤヲ熟視シ且ツ其前進兵ノ火
器尤モ當然ヲ得ルヤ否ヤヲ注意スベ
シ又々其左右ノ衛兵其信地ヲ守リ決

ノ敵ヲノ通過セシノザルヤヲ聞キ定
メ且ツ我が隊ヨリ出セシ最遠ノ哨騎
能ク其左右ニ在ル者ト正シク交通ス
ルヤヲ見定ムル道ハ決ノ其心ヲ安ス
ベカラザルト知ルベシ援兵既ニ其
信地ヲ領シ故衛兵退キ去ルハ新隊ノ
士官直ニ其近傍ノ一二高所ニ到リ自
ラ其地ノ頭取ト為テ前面左右殊ニ後

面ノ地ニ意ヲ配リ若シ敵ノ攻撃ニ遇
フテ本軍又ハ其陣營上ニ退クベキ
アラバ其時間巧ニ能ク之ヲ防テ歇止
ルヲ得ベキ一ニノ地位ヲ定メ置ク
ベシ

其衛兵若シ騎隊ナラバ敵ノ縦隊ノ先
頭ヲ襲ハシガ為ニ狹隘ノ路徑ヲ撰ミ
若シ歩隊ナラバ宜ク已レヲ掩護スベ

キ圍墻ノ地見定メ置クベシ又ク其背
後ニハ被覆ナキ路ハ之ナキヤウ穿鑿
シ壁墻ニ通孔ヲ穿テ夜間各翼ノ巡兵
左右ノ衛兵ニ交通スルニ便ニスベシ
若シ其士官衛兵線ノ最端ノ翼ニ配セ
ラレ兼テ度外ノ地ニ一管地ヲ受テ持
チ其上已レガ疆外遠距離ノ所ニ其信
地ヲ廻テ直ニ本陣ニ通スル路徑アル

一ヲ知ルカ又ハ其報ヲ得ル片ハ使ヲ
 走セテ別ニ一衛兵ヲ進出セシメ以テ
 其被覆ナキ土地ヲ防護スルヤウ申シ
 送ルベシ如何ノ路上ニテモ三軍ノ部
 隊夜中之ヲ通行スベキヤモ測リ難キ
 ガ故ニ決メ命ヲ受ズル或ハ柴或ハ柵或ハ欄或ハヲ以
 テ路ヲ遮ル一勿レ若シ免ヲ得バ先ツ
 輕クノ取り除ケ易キ物件ヲ用ユベシ

假令ハ桶中半バ石ヲ充ツル者數車ヲ
 一ニ束約シタル者車輪ノ車ヨリ脱セ
 シ者或ハ近傍ノ舎屋ヨリ集メ家財
 中重量ノ物品或ハ木板ノ一端ヲ地中
 ニ挿入ノ拒馬欄ノ如ク並べ一木ヲ路
 ニ横ヘ之ヲ支ヘテ緊縛ル者ノ如キハ
 良好ノ防牆ト成テ暗中騎兵ノ近迫ス
 ル患アル一ナシ取り除ケ難キ大木ヲ

命ナクソ路上ニ切倒シ或ハ之ヲ以テ
路ヲ遮ルヲ勿ルベシ時宜ニ由リ巡兵
ノ通孔ヲ開ク片ハ之ヲ塞グヘキ手近カ
ノ物品ヲ傍ニ備ヘ置クベシ若シ箇様
ノ柵欄アリテ其信地濱渚ト凹凸嵯峨
ノ地ヲ以テ圍繞シ以テ敵ノ不意ニ襲
来スルヲ防クニ足ルヲ知ラバ其士官
二人四人又ハ六人ノ兵士ヲメ管地ヲ

離レテ最モ精細ニ放撃スルヲ司ト
ラシム但シ再ビ其信地ニ就クベキ時
限ハ預メ定メ置クベシ然レハ騎兵ヲ
メ離レシムルハ先ツ宜シカラストス
衛兵ノ馬ヲ以テ狭小ナル門戸アル庭
除中又ハ圍墻中ニ繫ガシムルヲ勿レ
急率ニ之ヲ牽キ出シ難ケレバナリ
晝間前面ノ哨騎哨兵ヨリ放發一聲或

ハ一二預定ノ暗号ヲ為スルハ士官直ニ自ラ出テ、其所以テ検査シ眸ヲ凝メ總テ其哨騎ヲ省守シ居ルベシ蓋シ其望遠鏡ニテモ見認ムルヲ得ヘ又ハ一哨騎ヲ省守セシメテモ能ク之ヲ視下スベキ諸運動多ク之ヲレバナリ白日ノ間敵兵ノ運動塵雲ノ糺糊銃器ノ光輝ニテ見分ケ難キヲ屢之アリ

此等モ皆ナ筆記シ兼テ其進行ノ方向ヲ詳カニ直ニ本營ニ報告スベシ晝間其信地ノ方ニ前進シ来ル大炮騎隊歩隊ノ數モ本ヨリ細カニ報セズンバアラズ蓋シ士官自ラ其數ヲ判断メ慥ニ之ヲ決スルヲ良トス衛兵ノ前面ニ在テ我が牧夫ヲ集ル者ト敵ト間ニ一ニ争鬪ヲ發スルハ直ニ衛兵

ヲ騎馬セシメ又ハ其ヲノ銃側ニ立夕
シメ直ニ之ヲ本營ニ訴フ然レモ敵徒
近迫ノ我が信地危急トナルニアラズ
シバ決メ手ヲ出スベカラズ夜間大炮
ヲ牽ク響小銃ヲ運轉スル音等聞取ル
片ハ必ス之ヲ報告スベシ暗中騎隊ノ
行進ヲ知ルニハ頻々トメ馬ノ嘶ク聲
ヲ聞取ルニ若クハナシ然ル片ハ直ニ

裨官一員兵士四人或ハ六人ノ強キ一
巡兵ヲ出メ其方角ニ趣カシムベシ
自註ニ曰士官外衛ノ職ニ在ル片ハ
其兵士ヲノ鎖細無益事故ニ勸諭セ
シメサルヤウ意ヲ用ヒテ言ヒ諭ス
ベシ凡ソ戦ノ始ニ年少士官ノ身持
不作法ナルカ兵士謹心セズノ誤テ
炮ヲ放ツヤウノ更アル片ハ必ス大

害ヲ生スル者ナリ且ツ甲ノ外衛ト
乙ノ外衛トノ間ニ不和ノ心聊モ之
アル片ハ無益ノ争鬪ヲ釀シ我カ幸
福ヲ失ヲノミナラズ何ノ効益モナ
ク貴重ノ諸士官兵卒ヲ損亡スルニ
至ル是レ宜ク双方ニテ慎メ避クベ
キ可ナリ
凡ソ諸報告ハ未チ本管ニ送ラサル前

ニ士官タルベキ者宜ク精密ニ其實否
ヲ直スベキハ固ヨリナリト雖モ之レ
が為メ空ク躊躇ノ時ヲ過スベキニア
ラズ蓋シ其報ノミニテハ事實決シ難
キヲアルモ本管ニテハ又夕全様ニ別
ノ管地ヨリ送りシ報告モアレバ之ト
合セテ他ノ事故ヲモ照シ考ヘ以テ其
可否ヲ決スルヲアレバナリ

諸報告ハ皆ナ書附ニ致スベシ故ニ衛
 兵ハ職ニ當ル士官若シ自ラ石筆ト紙
 トヲ所持セザル中ハ其職分ヲ果シ難
 キ者ト知ルベシ其報告ヲ持チ運フヘ
 キ者ハ之ヲ磨擦ノ書面ノ抹滅セザル
 ヤウ意ヲ注グベシ敵兵ノ運動ヲ報告
 スルニハ最モ丁寧ニ精密ヲ加フベシ
 且ツ其方向ニ關シハ必ス我カ右又ハ

彼ノ志ト記シテ尺タ尤又ハ右トハ之
 記スベカラス然ラザレハ我ヲ左右カ
 敵ノ左右カ見ル者疑心ヲ生スルテ
 リ河水ヲ記スモ亦夕全シ(川ノ右三又
 ハ川ノ左三ト稱スルニハ士官宜ク其
 身非源ニ背ヒテ立ツトキ其右手ニ當
 ル方ヲ川ハ右岸ト心得テ記載スベシ
 外衛ハ孰レノ士官ニモ拜禮スルテ

要セズ只又此輩ニハ常ニ此ノ如ク高
位ヲ保タシムベシ然レ能ク之ニ相
ト伴テ地形交通等ニ關スル事情ハ猶
豫ナク叮嚀ニ其問ニ應メ詳説スル
必要ナリ内衛如ク事宜ニ由リ尋且ツ我
ガ拘護ノ士官衛兵士官凡ソ自ラ至當
ト察スル所ノ事件ヲ以テ之ニ問ハン
ト欲セバ決メ艱難スベカラス必ス了

然ト問ヒ窮ムベシ蓋シ居恒最良ノ外
營士官トナルハ亂問ト試験ノニソニ
在ルノミナリ外衛兵ハ終ニ終夜馬轡
ヲ解クベカラズ只夕朝第九時ヨリ凡
ソ日没二小時前迄ハ士官所轄ノ衛兵
未隊ノ馬ノミ一回ニ二三匹ツ、秣ヲ
與フ裨官所轄ノ前進隊哨ハ決メ免サ
ズ火ヲ燒クモ亦夕然リ且ツ士官所轄

ノ隊ト雖モ沙坑或ハ屋後壁隅等ニ於
テシカ所及之ヲ敵ノ方ニ見ヘヌヤウ
ニスベシ

總テ疑シキ者ハ皆ハ本陣ハ送ルベシ
嚴シク出奔人ヲ防ンガ為ナリ夜中ハ
一人タリモ陣營ヨリ出テハ哨騎又ハ
哨兵線ヲ過ルヲ許スベカラズ敵ノ一
士官自ラ停戦旗ヲ持テ外衛ニ来リ達

スルキハ士官之ヲメ前面ノ哨騎ヨリ
内ヘ入ラシムベカラズ而メ直ニ之ヲ
報告スベシ若シ本陣ヘ進マシムベキ
令ヲ受ルキハ其眼ヲ縛シ一裨官ヲノ
其馬ヲ導カシムベシ總テ陣中へ諸品
ヲ齎ニガ為メ外衛ヲ通過スル者ハ能
ク之ヲ取扱テ大ニ之ヲ慰撫シ殊ニ士
卒ヲ制シ陣中ノ市場ニ通ラシムルヲ

恩トシ此輩ヨリ一物ヲモ貪ラシムベ
 カラズ兎角兵士ハ能ク温言ヲ以テ其
 周圀ノ土人ヲ遇シ置タベシ婦女子ニ
 至テハ殊ニ然リ蓋シ土人ト和スル片
 ハ屢求ソザル親告ヲ得ルコトアルナリ
 士官裨官執レニ論ナク若シ哨騎哨兵
 信地ニ在テ眠ルヲ見テ而ノ之ヲ訴ヘ
 ザル片ハ重罪タルベシ其兵士ハ怠慢

ノ罪死刑ト知ルベシ

○哨騎

哨騎哨兵ハ殊ニ其信地ニ在テ氣ヲ萬
 事ニ配ルヤウ教導シ且ツ其第一發ハ
 全軍ヲ驚カセ或ハ然ラザルモ之ヲノ
 無益ニ動搖セシムル者ナルガ故ニ必
 然ノ道理ナルニ非レハ放發セザルヤ
 ウ必ス意ヲ留ムベシ且ツ又タ第一發

ハ敵ヲ撃タシガ為ニ非ス只夕一ノ暗
号ナリト心得フベシ但シ巡兵モ亦夕
此ニ心ヲ用ユベシ

自注ニ曰予曾テアドウル江ノ河濱
「モント」ズマルサシヨリタルベス
ニ趣ク衛路上ニ衛兵ヲ領セシト
リ其時江ノ對岸予ガ信地ニ近キ所
ニ一村落アリ是ニハ「リ」ユテナシト

ニ命シ淺水ノ所ヲ渡リ兵ヲ督ノ位
置ヲ取ラシメ兼テ裨官一員兵士六
人ヲノ予ト全方ノ河濱ニテ凡ソ一
里半英モ進テ其淺水ヲ後面ニシ衛
路ノ衛角極テ危キ位置ニ附カシメ
夕リ然ルニ我が「リ」ユテナシトノ機
智神速ニ由テ此些少ノ配分隊モ能
ク安全ヲ保ツトヲ得タリ其故ハ黃

昏ノ際ニ當テリユテナン止ノ隊敵
ノ進襲ニ遇ヒ又夕兼テ村外ニ當テ
前面ノ哨騎ノ裨官第一發ヲ放ツテ聞
ケリ時ニリユテナン止自ラ謂ラク
是敵ノ來ルヲ報スルニアラザルベ
シ然レ氏彼輩ノ位置ハ甚夕危峻ノ
地ナリ尺夕宜ク其事情ヲ明ラカニ
スルニハ如カスト乃チ營門ニ繫キ

レ馬鞍上ノ短銃ヲ取リテ之ヲ空中
ニ放チシニ此炮聲幸ニノ哨騎ニ聞
ヘ直ニ退ヒテ恰モ能ク敵ノ為ニ後
路ヲ絶タルノヲ免レリユテナン
止モ敵ヲ避ケテ續ヒテ淺水ヲ渡リ
來レリ

敵ノ襲撃ニ遇フ片ニ當テ前進ノ哨騎
哨兵多クハ雨湿又ハ他ノ事故ニテ其

小銃不發スベキヲ知ラバ必ス大聲疾呼
 呼^テカ所及速ニ本衛ニ走り入ルヘシ
 晝間敵其信地ヲ襲ハントスル片ハ兼
 テノ如ク靜心^{オチ}テ其信地ニ留リ以テ左
 ノ暗号ヲ行フヤウ命ズベシ即チ歩兵
 ノ近ツク片ハ輪子ニ乘リ廻リ^{其形}8
 騎兵ナラバ右輪ニ騎リ大炮隊ナラハ
 尋常強キ護左輪ニ乘リ廻ルベシ總テ
 兵ヲ伴フ

其歩法ハ敵ノ前進スル歩ニ全シクス
 ベシ而シテ此運動ハ一衛兵中ノ哨騎ナ
 ラハ皆ナ悉ク之ヲ倣ヒ行フベシト雖
 モ兩翼ノ衛兵中ヨリ出テシ哨騎ハ只
 タ其裨官ヲ已レノ方ヘ呼ビ込ムベシ
 只夕敵兵ノ運動スルヲ見出スカ又ハ
 前面ヨリ言ヲ通セント欲スルノミ
 時ハ其馬上銃力或ハ小銃ノ上ニ帽子

ヲ置キ或ハ之ヲ其頭上ヨリ高ク指シ
舉ゲテ以テ裨官隊ノ所ニ位置シテ衛兵
ノ銃ト馬トヲ守リ兼テ前面ヲ看守ス
ル一員ノ哨兵ニ見ヘルヤウニスベシ
而シテ此哨兵ハ絶ヘズ彼ノ輩ニ眼ヲ注
ギ居リ其暗号ヲ見ル片ハ之ヲ其裨官
ニ報ズ裨官此報ヲ得テ直チニ其哨兵
ノ所ニ進ミ來ルベシ凡ソ哨騎哨兵ハ

已レガ信地危急ニ臨ムカ敵ノ士官其
陪從等ニテ如何ニモ高官ト見ユル者
乍候ニ來ルニ非レハ決シテ如何ノ敵兵
來ル氏發炮ニテ報ヲ為スベカラズ若
シ然ル片ハ之ヲ其裨官ヘ報告スベシ
敵ノ一士官停戰旗ヲ携ヘテ來ル片ハ
之ヲ其信地ヲ通過セシメズ直ニ其
衛兵ノ裨官ニ報スベシ凡ソ哨騎哨兵

巡兵トモ夜間ハ二人ツ、一組タルベ
シ是レ暗夜其暗号見へ難キヲ以テ一
人ハ止テ其信地ヲ守リ或ハ連綿トメ
巡視ヲ行ヒ一人ハ退ヒテ報告ヲナス
為ナリ若シ一二ノ人員哨騎哨兵ノ前
ニ来テ或ハ自ラ味方ノ者ト云ヒ或ハ
敵方ヨリ出奔ノ者ト稱スル片ハ之ヲ
其裨官ニ告ル筈ハ此レ遠隔ノ距離ニ

静止セシムベシ裨官其報ヲ得ル片ハ
直ニ其前面ニ出テ、事情如何ヲ探索
シ若シ其人員稍多キ片ハ我兵騎兵ナ
ラハ騎馬セシメ歩兵ナラハ銃側ニ立
タシムベシ然テ諸軍中ニハ能ク普通
セル暗詞暗号定メアリト雖凡尚又敏
捷ノ哨騎哨兵ハ何人タリ凡之ヲメ通
过セシメザル前ニ先ツ之ヲ吟味シ其

應答ノ如何ニテ見テ愈我が陣營ニ屬
ス者ナリヤ否ヤヲ判断スルナルベシ
自註ニ日¹是²班³牙⁴在⁵苗⁶ノ英國輕軍ノ
哨兵ハ之ヲ吟味スルノ法其軍ノ名
將⁷「コロウブオールド」君ノ定ムル所ニ
據レリ而ノ究テ倣ヒ用ユルニ便ナ
リ其法⁸其所ニ來ル者ハ誰ソ○扣ヘ
答テ曰ク英國士官⁹四十三番隊ノ指

揮官ハ誰ソヤ¹⁰將軍差副ノ姓名ハ何
カ云云¹¹輕軍ノ兵糧官ハ誰ソヤノ
如ク凡テ軍中ノ者ニ普通ノ事ヲ問
フ又夕¹²第一自利¹³瓦¹⁴煙¹⁵ニハ何々ノ列
細¹⁶綿¹⁷多¹⁸アリヤ¹⁹其他此ノ如ク始終我
ガ三軍中ニ交リ居ル者ニ非レハ答
ヘガタキ問ヲ設クベシ
哨騎哨兵ノ輩若レ此一條ニ心ヲ用ヒ

ザルキハ已レガ身ト衛兵ヲ危フスル
ノミナラズ不測ノ大害ヲ招クアル
ベシ慎マザルベケンヤ故ニ此職ハ其
身ト其衛兵ノ安危ニ關スル者ナル
ヲ能ク此輩ニ論シ置クベシ假令ハ一
哨騎歎カレテ只ク一人ノ敵兵ニテモ
已レニ近クテ許スホハ彼レ直ニ進
テ之ヲ突傷シ所々ノ持場モ之レガ為

ニ動揺シ敵ノ後軍此機ヲ伺ヒ直ニ突
ヒテ後百ノ馬ニモ騎ラズ備モ無キ我
ガ衛兵隊ニ進撃スルニ至ルベシ○雨
天又ハ大風ノ間ハ哨騎殊更意ヲ用ヒ
テ必ス風雨ニモ屈セズ命ヲ受シ方角
ヨリ已レガ頭モ馬ノ頭モ轉スルヲ
免サズ是レ尤モ教諭スベキ所ナリ

○巡兵

夜ハ暗クノ白日ノ如ク目視ニハ看守
信報共ニ難キガ故ニ絶ヘズ巡兵ヲ出
ノ所々ヲ探ラシムルノ法ヲ用ユベシ
夜間前面ノ巡兵モ各翼ノ巡兵モ共ニ
外衛本隊ヨリ出テ、前面ノ裨官隊ニ
趣キ而シ各翼ノ巡兵ハ右ト左ニ轉シ
廻ルベシ是ニ由テ二個ノ用ヲ為スベ
キナリ時宜ニ由リ此前面ノ隊ニ一モ

護兵ナク而シテ後面ヨリ一ノ巡兵モ来
テ之ヲ過ル下之ナキ片ハ自ラ前面ト
各翼ノ前衛ニ巡兵ヲ出スベシ凡巡兵
哨騎哨兵ヲ過ル片ハ二十「ヤルド」ヨリ
内ヘ近クベカラズ正ニ此輩ヲ視望ス
ベキヲ度トス蓋シ哨騎哨兵タル者ハ
必ス已レニ近ツキ来ル者ヲ見バ何人
ニ論ナク敵ト思テ吟味ヲ遠グベケレ

バナリ巡兵ハ假令嚴寒ノ時候ト雖モ
決メ火ヲ用ユルヲ免サズ只夕好天氣
ノ時ヨリモ交番ヲ屢セシムルノ之巡
兵甲ノ衛兵ヨリ乙ノ衛兵ニ趣クニ當
テ敵ト出遇フナラバ連々炮撃シ其
動搖ノ所以ヲ穿鑿ノ為メ本衛ヨリ出
セシ裨官一員兵士四人又ハ六人ノ強
巡兵中へ走り入ルカ又ハ之ニ由テ援

ケラルニ至ルベシ若シ多クノ敵アリ
テ既ニ哨騎哨兵ヲ通過セシ模様アル
キハ其中一人衛兵ニ趣テ之ヲ告ケ直
ニ本陣へ報スベシ○巡兵前面ヨリ退
キ歸ルニハ屢背後ヲ顧ルベシ然ラガ
レハ諸事安靜ノ報ヲ持テ歸ルモ敏捷
ノ敵徒或ハ背後ニ隨ヒ来ルナリ是
レ巡兵ノ最モ用心スベキ所ニシテ黎明

前ノ巡兵ニ至テハ特ニ然リトス○巡兵ノ歸リ来ル時限ヲ算定メ凡ソ其四半小時前頃ニ新巡兵ヲ出スベシ是レ敵我カ巡兵ノ後面ニ廻テ之ヲ絶ツトアルモ新巡兵此敵ニ會ノ之ヨリ不測ノ危害ヲ生ズルトヲ防クヘキ故ナリ○巡兵ノ時々足ヲ止メ神ヲ清シ耳ヲ傾テ細聽スベシ敵兵運動ノ聲モ夜陰

ノ寂寥ニテ遙カニ聞ユルト之アル者ナリ

○衛兵攻撃ニ遇ノ事

衛兵攻撃ニ遇フ時ハ裨官所轄ノ前進隊其士官隊ノ方ニ退キツ、込方ノ能フ丈カ所及急速ニ敵ノ方ヘ攻撃シ以テ警報ヲ四方ニ傳ヘ外衛本隊之ヲ援クルニ至テ其兩翼ヲ通過シ其後面丸

ソ三十ヤルドノ地ニ隊ヲ立テ備兵トナル

士官ノ隊敵ノ為ニ困迫セララル、片ハ平且自ラ撰ミ置キシ要地ニ據テカ所及之ヲ保守ノ敵ヲ支ヘ内衛兵ノ来リカヲ添ユルヲ待ツベシ且ツ夫レ此任ニ當ル士官ハ敢テ死ス片踏ミ止テ敵ヲ遮リ敵徒ヲメ我カ本軍或ハ其管寨

ヲ動揺セシムベカラズ是レ尤モ心ニ銘ズベキ所ナリ各翼ノ哨騎哨兵或ハ巡兵ハ自ラ其路ヲ索テカ所及駿速ニ其衛兵ニ入ルベシ○若シ又夕我が隣近ノ衛兵敵ノ為ニ進撃セラレシ片ハ士官直ニ其兵ヲメ騎馬セシメ或ハ其銃側ニ立タシムルヲ要事トス而ノ其哨騎哨兵ハ自ラ危ニ臨ムカ又ハ隣隊

新編 武家文庫

三三

敗北スルニ非ザレバ決メ退ヒテ本隊
中ニ入ルベカラズ若シ然ルモ之ア
ルキハ其士官宜ク機智ヲ運ラノ敵ノ
為ニ背後ヲ絶タレヌヤウスバシト雖
氏其右右背後危難ニ迫ル決メ其
信地ハ退カス而メ後徐カニ之ヲ去ル
ベシ決メ周章スベカラズ夜間隣衛ノ
哨騎哨兵警報ヲ傳フルキハ裨官一員

ニ四人又ハ六人ノ兵士ヲ附メ其信地
ノ方角ニ進マシメ以テ其兩翼ヲ擁護
スベシ而メ其警報ヲ傳ヘシ哨騎ノ本
衛若シ連々炮撃ノ退キ遂ニ其全隊皆
テ退後スベキニ至ルキハ其哨騎宜ク
ニ三十ヤルドヲ隔テ之ニ殿ノ退キ
而メ護翼兵ヲ出セシ衛兵隊モ全隊皆
テ進撃ヲ受シ衛兵ニ見合セテ段々ニ

退クベシ敵徒既ニ退クカ或ハ炮戦止ム片ハ其士官兼テ護翼兵ト散兵ヲ出シ再ヒ其信地ヲ恢復シ其左右兩翼トノ交通再ヒ相ヒ定メル迄ハ其兵ヲノ下馬セシムベカラズ而ノ後其前面ニ巡兵ヲ出スベシ

○上等士官職分

衛兵ノ士官スラ其職此ノ如ク重シ况

ンヤ之ヲ信地ニ附ケ之レガ位置ヲ分配スル上等士官ニ至テハ其任豈ニ只ク前文記載スルガ如キノミナランヤ之ヲ配置スルニハ各隊ノ交通系屬絶ヘサルヤウ心ヲ用ヒ之ヲ以テ全軍ヲ泰山ノ安キニ置カン^{ツカ}其職分ナリ故ニ諸信地ノ全線ヲ安排連接セン^{ツカ}ヲ務ムベシ若シ各隊ノ連結交通絶ユル

片ハ各隊皆ナ一箇一箇ノ孤軍トナリ
テ其用ヲ為サズ實ニ其士官ノ大耻辱
タルベシ必竟衛兵ノ鴻益ヲ奏スルハ
互ニ交通シ互ニ并カスルニ在ルナリ
若シ輜重總裁局ノ士官能ク地形ヲ熟
知スル者アラバ宜ク之ニ就テ其教ヲ
受クベシ然レモ他人ノ智識ヲ的ニセ
ス宜ク自ラ其地理ヲ明知スベキト蓋

レ其本職ナリ若シ詳ニ之ヲ知ラザル
片ハ決メ衛兵ヲ以テ利用ノ地ニ配置
スベカラザレバナリ衛兵ヲ信地ニ所
テント欲スル片ハ騎兵ヲ用ヒテ便利
ナリヤ歩兵ヲ用ユベキヤヲ判断スベ
シ若シ歩兵ヲ用ユベキ片ナラバ地形
ノ模様ト事故ノ如何ニ應メ騎兵ヲ組
合セ用ユベシ若シ路上ニ一ニ障妨

難所等之アル片ハ之ヲ衛兵ト我が本
 軍トノ間ニ置カンヨリハ寧ロ敵ト衛
 兵ノ間ニ取り込ムベシ但シ哨騎ハ其
 障妨ノ前面ニ出スベキナリ是レ心ヲ
 用ユベキ所ナリ凡ソ哨兵ハ晝間ハ眼
 界廣遠ノ地ニ置テカ所及敵ノ目中ニ
 入ラヌヤウ分配スベシ屋角叢林杯此
 用ニ供スベシ然レ是レ為ニ交通ノ一

大事ニ損失ナキヤウニスベシ凡ソ哨
 線哨兵ノ線ナリ中ノ哨騎哨兵ハ皆テ各
 已レカ左右ニアル諸々ノ哨騎哨兵ノ
 運動ヲ通視明辨シ易キヲ第一ノ義ト
 ス又夕其衛兵ノ銃器我馬ヲ守ラシム
 ル一員ノ哨兵モ哨線ニ位置スル前面
 ノ哨騎哨兵ノ内一人ニ視通ヲ附ケテ
 之ヲ看守シ易キヤウスベシ然レ凡ソ

右交通ノ哨線ヲ保守スル各位ノ哨騎
哨兵遠ク前衛裨官ヲ離レテ進出スベ
キ片カ又ハ樹林障妨等アリテ銃馬守
衛ノ哨兵能ノ前面ノ一哨騎又ハ一哨
兵ヲ視通シ難キ片ハ前面ノ哨騎哨兵
ト此哨兵トノ間ニ又ク一員ノ哨騎カ
哨兵ヲ置キ時トノハ二員以上モ位置
ヲ取ラレノ以テ前面ヨリノ暗号ヲ受

ケ次クヤウ命スベシ
哨騎夜ハ晝間遠望ノ為ノ登リ居シ高
所ヨリ下テ敵ノ前進シ来ルバキ通路
ニ出ツベシ廣濶ノ土地カ又ハ攻撃ノ
起ルバキラ知ル片ハ時ニ由リ別ニ哨
騎又ハ哨兵ノ一哨線ヲ分配ノ本来ノ
哨騎哨兵ニ連結セシムベシ○凡ソ哨
騎哨兵ノ輩夜ハ山ニ登テ見下シ臨ム

ヨリモ山下ヨリ見上ルルハ其視力大ニ明カナリ蓋シ敵隊ノ進ニ来ルヲアルニ其背後ニ地面ノ如キ暗物アルハ必ス見ヘ難キ者ナリ宜ク大空ニ仰ヒテ之ヲ透シ見ルベシ然レモ極メテ暗キ夜間ハ一卒ヲノ山ノ半腹ニ登テ首守セシムベシ○若シ哨騎哨兵ノ位置變化等ヲ行フハ日没前ニ一新ノ

交通分配相ヒ濟ムヤウ行フベシ是レ翌朝再ヒ信地ヲ領スルニ難事ヲ生セシメザル為ナリ
凡ソ晝間本官ヨリ送リシ焚焚道具慰勞品等ハ日暮尽ク之ヲ送り返スベキヤウ衛兵士官ニ命シ置クベシ是レ時ニ臨ンテ煩雜ナカラシメン為ナリ
時宜ニ由リ其信地護兵ヨリ遠隔ナル

カ土地廣濶ニシテ道路ニ由ラズトモ敵ノ通行妨ナキカ又ハ信地露出ヤシ所ナルモハ日暮必ス之ヲ近距離ニ引カシムルヲ要トス是レ只ク安全ヲ謀リ之ヲノ護兵ニ近接ナラシメノ且ツ敵其夜間ノ位置ヲ知テ之ヲ襲フヲ防クノミナラズ行軍ノ後極メテ疲困セシ巡兵ノ為ニ其職務ヲ減スルヲ至テ多

シ殊ニ次日軍隊再ヒ進軍スベキ時ハ尤モ然リトス然レモ必ク衛兵ノ士官ニ示令ノ黎明前先テ平且ノ巡兵ヲ出シ之ニ次テ皆テ全時ニ其諸隊ヲ再ヒ前出ヤレムベシ○衛兵ノ用ハ必竟全軍ノ安靜ヲ護衛スルヲ以テ大眼目ト為スヲナレバ必然其職ヲ果スニ足ル丈ノ人馬ヨリ外ハ空ク之ヲ役セヌ

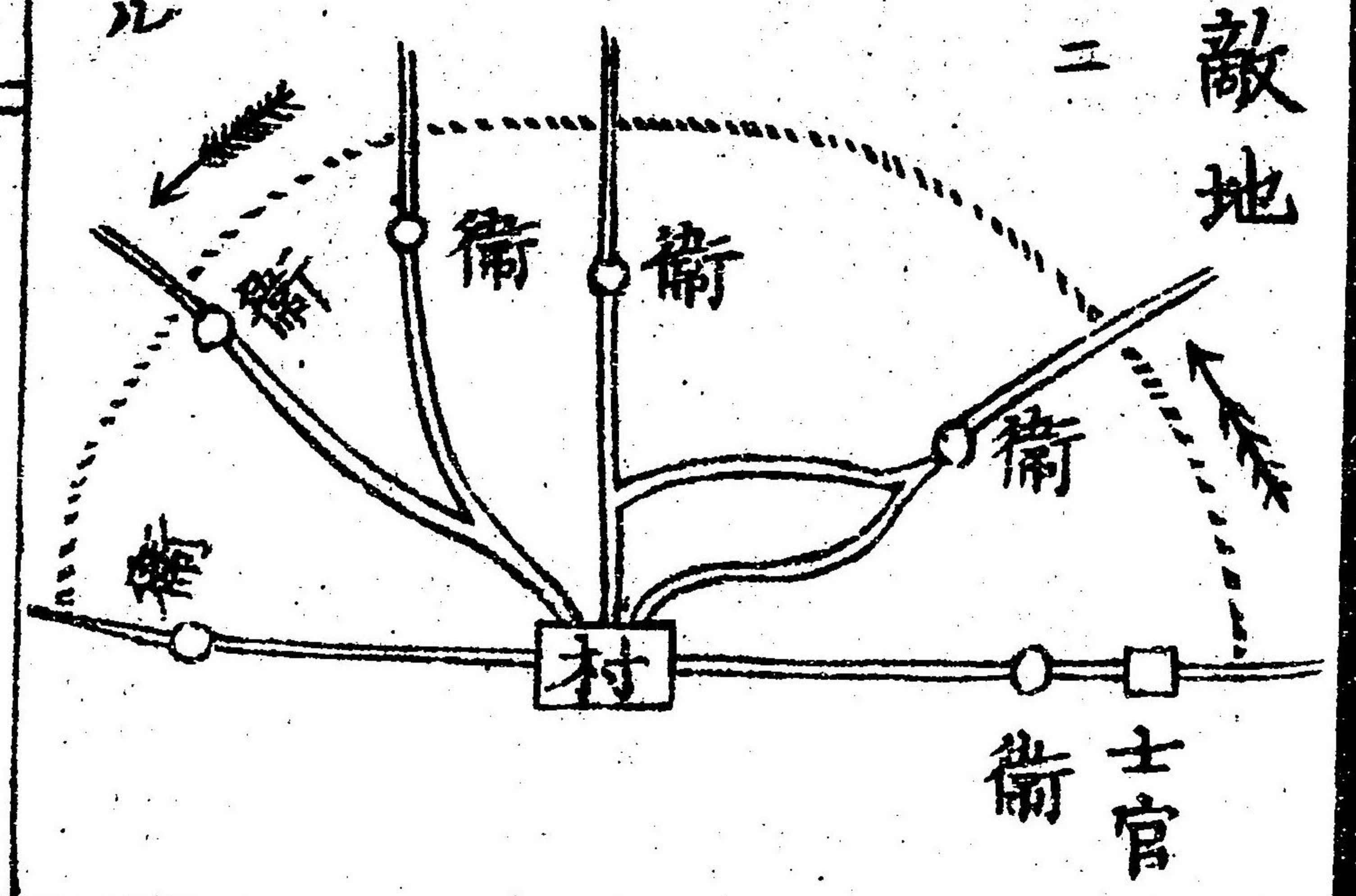
ヤウ時々刻々意ヲ用ヒテ其配分ヲ減
スルノ必要ナリ一二時間全一ノ位置
ニ信地ヲ保守メ既ニ其地形ヲ精知ス
ル片ハ次日ハ必ス其人馬ヲ減スルヤ
ウ思慮センヲ要ス必ス等閑ニ人馬ノ
勞ヲ費スル勿レ

時刻晚景ニ及テ事實切迫ニ至ルニ非
ザレバ士官種々ノ手配ヲ為スル未_レモ

容易ノ事ナルベシト雖_レ氏若シ傍晚ノ
時ニ臨テ固ヨリ不知案内ノ信地力_ヒ又
ハ一村_ノ村落ニ配分隊ヲノ前進セシムル
片ハ是レ兵ヲ敵ニ棄ルニ近シ此ノ如
キ時ハ上等ノ号令官常例ノ用意法ニ
隨ヒ其村落ヲ巡視シ兼テ脇ノ方へハ
哨騎輩ヲ遣ハシ其村落ヨリ諸方ニ通
スル路數ヲ明察シ一路毎ニ一衛兵ヲ

送テ一里不足ノ距離ニ静止スルヤウ
 命ヲ傳フ但シ此輩ハ各其路上中岐路
 ノ有無ヲ探索シ若シ之アル所ハ何處
 へ通スル路ナルヤヲ穿鑿シ再ヒ命ノ
 下ルヲ待テ号令官ニ面接スル所細力
 ニ之ヲ訴フベシ而シテ後号令官直ニ一
 衛兵ヲ帥ヒテ敵地ニ對行スル一路ヲ
 取テ一里計進ムベシ此信地ヲ定メテ

後ハ通路ヲ離レ身ヲ敵地
 ノ方ニ轉ノ半圓ノ形ニ
 進ニ其初ノ村ヨリ進
 出セシ路トハ殆ンド
 反對ノ方角ニ通スル
 一路ニ達スルニ至ル
 ベシ都テ先ニ分配セ
 シ諸衛兵ノ方へ通スル



路ヲ横過スル毎ニ必ス此輩ヲ配置ス
ベキ信地ヲ算決ノ直ニ使ヲ走セテ之
ニ其命ヲ傳フベシ此ノ如クニ年配ノ
以テ其前面各翼ヲ衛護スベシ
衛兵ノ指揮ヲ司トル士官或ハ裨官既
ニ其命ヲ受ケシ位置ニ達スル片ハ力
所及神速ニ其左右ト交通ヲ施スベシ
是レ上等士官能ク此輩ニ明諭スベキ

所ナリ

若シ二條ノ路互ニ相ヒ合テ一路トナ
ル片ハ号令官宜ク若干ノ兵士ヲ減ノ
之ヲノ村落ニ帰ラシムベシ
蓋シ此衛兵線ノ安排ヲ任トスル号令
官ハ已レト更代スベキ士官ニハ須ク
精密ニ其地形事情ヲ以テ一々告諭セ
ズンバアラズ以上件々ノ概則ハ皆ナ

輕騎列細繚多ノ敵際ノ實學ヨリ得ル
 所ナレバ之ニ由テ暫ク之ヲ鍊用セバ
 才智尋常ノ士官ト雖凡必ス直ニ能ク
 衛兵線ヲ分配スルヲ得ベシ蓋シ只
 タ其要スル所ハ精神ヲ活動ノ能ク其
 職分ヲ果スニ在ルノ之而ノ其ヲノ誤
 ナカラシムル者ハ只タ用心ノ一事ノ
 之是レ常ニ心上ニ記スベキ所ナリ必

ス常ニ自ラ用心堅固ニメ如何ノ街談
 巷説ヲ得ルヲアル片決メ之ヲ信スベ
 カラス蓋シ此ノ如キ者ハ外衛士官ノ
 據ト為スヘカラザル者ナリ且ツ其信
 據ト為スヘカラザル者ナリ且ツ其信
 地ノ上ニ就テハ如何ナル處モ皆ナ通
 過自在ニ足ノ至ラヌ隈モナキニ至
 ルマデハ決メ其職ヲ果セリト思フ
 勿レ若シ夫レ其職務ノ切要ナルヲ

忘却ノモ好キ者ナルカ又ハ焦心盡力
ノ其任ニ應セシトスル貴重ノ志ヲ棄
却スルモ亦タ可ナル者ナラバ如何ノ
難事モ更ニ之ナク萬事ノ法度モ至テ
簡易ナルベケレモ造次顛沛必ス心ニ
惰ルヘカラザル者ナルガ故ニ其職任
自ラ多端ニ及ブナリ是レ其士官ノ直
ニ明悟スル所ナリ今マ其多端ノ職任

ヲ以テ一々定説ヲ立ル_ト難キカ故ニ
多クハ措テ士官ノ智識才能ニ讓ルト
雖モ必ス決メ其任ニ堪ヘ難キヤノ懼
ヲ抱ク_ト勿レ只夕者ヨ孩童ノ游戲ニ
モ種々ノ奇謀ヲ施シ獵者ノ無智モ其
眼力迅速ニメ兼テ能ク其地理ヲ知リ
世上ノ危俗モ只夕能ク尋常ノ地形ヲ
説ク此ノ如キ者モ絶ヘス之ヲ實地ニ

用ヒ而ノ之ニ加フルニ心ノ判断ヲ以テセバ求メズト雖モ必然一ニノ奇用ヲ得ルヲアラン

○圖式解明

卷末ニ附スル所ノ圖ハ一箇ノ地面河ヲ以テニツニ分レ其兩側ニ種々ノ地形アルヲ示シ兼テ外衛ノ配分法ヲ畱ク

其河地面ヲ三分ノ北ニ流レ是レ稀ニ

リナ其市街ノ周圍ハ悉ク敵ノ襲撃ニ

偶フト察セヨ

市街中ニハ一自利瓦埵ノ騎兵隊陣ヲ

取り其守護ノ為ニ十分ノ衛兵ヲ配出

セシト知ルベシ

西ノ方ニハ平原アリ北ノ方ハ廣大ノ

樹林ト圍牆ヲ以テ被覆ス西ノ衛路ト

河トノ間ニ在テ平原ヲ通テ西南ノ方
へ通スル徑路ノ上ニハ裨官一員ト兵
士八員ノ小衛ヲ置キ(又)此隊ヨリ二哨
騎ヲ出シ前面河水及ヒ其南岸ノ哨騎
ト右隣ノ哨騎ヲ自由ニ見通スベキ所
ニ位置ス

内衛兵ヨリ一人ノ哨兵ヲ出シ市街ノ
城門カ又ハ鐘樓ニ在テ此輩ヲ看守ス

而メ此信地ハ市街ヨリ遠隔ノ地ニモ
非ス且ツ西北諸衛兵ノ夜間ノ信地ニ
見合セテモ左程危難ニ罹ルベキ程前
進セシニモ非ザルガ故ニ夜間モ亦夕
全所ニ在テ信地ヲ移サズ只夕其晝間
ノ哨騎ヲ呼入ノ路上ニ二人一組ノ哨
騎ヲ置キ兼テ一小時毎ニ絶ズ河邊ト
前面ヲ巡視ス

西ノ衙路ニハ從屬士官一員リユテナ
 任シンサ裨二員兵士二十四人ノ一衛兵ハ
 ヲ置キ①又夕左ノ方ヘ②ニ位置スル
 者護兵トス此隊晝ハ歧路岐路ノ所ヨリ六
 七百ヤルド③即チニ位置ノ一二ノ被覆
 ニ就テ以テ其利ヲ取り其歧路ノ所④
 ニハ此隊ヨリ裨官一員ト兵士六人ヲ
 遣ハシ之ヨリ二哨騎ヲ出シ一ハ右ニ

進メテ平原ヲ守リ隣衛兵ヨリ出テシ
 樹林ノ角ノ哨騎ニ交通セシノ一ハ左
 ニ置テ其左ノ衛兵⑤ノ二哨騎ト交通
 セシムベシ但シ此衛兵隊モ亦夕市街
 ヲリ之ヲ看守ス夜ハ其右隣ノ衛兵退
 クガ故ニ此士官隊モ三四百ヤルド引
 キ退リ⑥其裨官輩ト兵士六人ヲ其路
 上⑦ニ配シ晝間ノ哨騎輩ヲ呼ヒ入レ

テ二人一組ノ一哨騎ヲ歧路ノ角ニ置
 キ時々其裨官ノ衛兵ヲノ歧路多ス兩條共
 ニ其前面ヲ巡視セシメ兼テ其左側ノ
 衛兵[㊦]ヲ巡視セシム
 凡ソ^開闊ノ土地ニハ哨騎多ヲ要セサ
 ル^テ以テ見ルベシ
 北路ノ方ヲ守衛スルハ殊ニ難事ナリ
 蓋シ樹林廣邈ニシテ其林外巾四里以上

程ノ地面ハ更ニ眼ニ入ル^テ無シ然レ
 氏其樹林開ク所宜ク其通過スル者ヲ
 探索セズンバアヲサルガ故ニ已ム^テ
 ヲ得^ズ過遠ノ距離ニ進^ンテ信地ヲ取
 ラザルヲ得^ズ故ニ他所ヨリモ其衛兵
 之ハ強勢ニシテ^カピテ^イン^一員從屬士
 官一員裨官三員兵士四十人ヲ以テ成
 ル晝間ハ此士官ヨリ前面ニ二箇ノ裨

官隊ヲ前出ス一ハ北ノ衙路上ニ信地
 ①ヲ取り裨官一員兵士十二人ヨリ成
 リ兼テ之ヨリ三哨騎ヲ前進セシム一
 ハ裨官一員兵士六人ニテ淺水ノ処ヨ
 リ西北ニ通ス路上樹林開ク所ノ角②
 ニ位置ヲ取り二箇ノ哨騎ヲ出メ右ハ
 隣隊③ニ交通シ左ハ平原上ノ衛兵ニ
 交通ス此ノ如クニノ哨兵線ヲ連續シ

而メ其翼ハ河上ニ至テ止マシ夜間ハ
 北方諸信地ノ後面西方ニ連テ原野開
 闊距離過遠ナルカ故ニ其信地ノ隊ハ
 皆ナ引キ退テ陣スベシ即チ士官ノ隊
 ハ樹林ノ入口④へ退キ裨官一員ト兵
 士十二人ノ隊ハ裨官一員兵士六人ノ
 隊ト共ニ歧路ノ相ヒ遇フ所⑤ニ引キ
 衙路ヨリ五六百ヤル止ヲ隔テ、淺水

ノ所ニ哨騎ヲ置キ西方ノ歧路樹林ノ
端ニモ哨騎ヲ出ス士官是ニ於テ別ニ
新ノ裨官一員兵士八人ヲ左ノ方ノ林
ノ隅(乙)ニ配シ其平原ノ部位ヲ守衛シ
兼テ西方ノ衙路(乙)ニ配出セシ裨官ノ
隊ニ至ル迄ヲ巡視セシム但シ士官樹
林ヲ剪リ開テ其尤ニ通路ヲ附ケ以テ
此夜衛(乙)ト交通スル路程ヲ近捷ニス

士官終夜時々巡兵ヲ出シ北路上ノ信
地(乙)ト西北路上ノ信地(乙)トヲ通過ノ
前面ヲ巡視セシメ兼テ屢夜營(乙)ヲ巡
視ス散營ノ三軍ヲ被覆スルモ又ハ如
何ナル廣濶ノ土地ヲ被覆護衛スルモ
其衛兵ノ分配ハ皆ナ其條理前文ト異
ナルトアラザルナリ
扱又河ノ東ノ方ハ山アリ橋ノ守衛ア

リ故ニ他所ヨリモ其信地ノ線又夕遠
 隔ナランヲ要ス南ノ路ニハ市街ヨリ
 一里半又ハ一里ヲ隔テハ農家所々ニ
 一馬^ス隊散營ヲ取リ馬ニハ鞍ヲ置カズ
 ト^ス雖凡守衛ハ毫モ情ルナシ
 橋ニハ士官所轄ノ一衛兵ト裨官二員
 兵士二十四人ノ隊ヲ置キ^ル其内裨官
 一員ト兵士九人ヲノ河ヲ越テ村落ニ

到ラシメ^ル①ニ哨騎ヲ前面ニ出シ圍墻
 ノ外ニ置キ以テ左右ヲ看守セシム但
 シ其尤方ノ哨騎ハ只夕交通ノ為ノミ
 又夕一哨騎ヲ通路ノ中ニ配シ以テ衛
 兵トノ^ス係屬ヲ為サシム
 夜間ハ此輩皆テ河ノ右岸^ニ引キ只
 一單一ノ哨騎ヲ橋頭カ又ハ市街ヨリ
 安全ノ距離ニ置キ衛路上ノ士官隊ヲ

リ巡兵ヲ出ノ之ヲ通過セシメ橋ニハ
柵欄ヲ結ヒ士官隊進テ其防禦ヲ佐ス

⑤ 東南ノ路ニハ裨官一員兵士九人屯シ
⑥ 一哨騎ヲ前出ス此隊其距離遠クノ
信地露出スト雖厩南路ノ馮驥ト橋頭
ノ衛兵ノ背後ヲ護セシガ為メ夜間モ
此信地ヲ引カズ夜ハ其路ニ柵欄ヲ結

ヒ二人一組ノ哨騎ヲ出シ⑦ノ信地ニ
巡兵ヲ送ル山麓ノ村落⑧ニハ裨官一
員兵士十二人ヲ置キ其ヨリ晝ハ二哨
騎ヲ出シ一ハ村後ノ山上ニ置キ一ハ
樹林ノ角ニ置ヒテ哨線ヲ全ク連結シ
其右側ノ衛兵ニ交通ス此信地モ亦夕
右隣ノ衛兵⑨ト全様ニテ夜間モ退カ
ズ且ツ全ク柵欄ヲ結シテ村落ヲ防禦

又夜間ハ路上ニ複哨騎ニ人ヲ出シ其
 九(三)ノ村落ニ屯ス衛兵ニ巡兵ヲ送ル
 東方ノ衙路(三)ニハ三十人ノ士官隊相
 ヒ屯シ二分隊ヲ配出シ一ハ裨官一員
 兵士九人ヲ以テ衙路ニ傍テ山麓(口)ニ
 立テ是ヨリ三哨騎ヲ出ス此内一哨騎
 ノハニ哨騎ノル若シ中間ニ山ヲ交
 禪官一員兵士六人ヲ以テ河ノ方ノ山

頂(ハ)ニ屯シ哨騎二員ヲ出ノ平原ヲ臨
 眺セシム夜ハ士官ノ隊峽路ノ口ニ退
 キ(五)兵士九人ノ隊ハ村後(五)ニ引キ一
 ノ複哨騎ヲ出シ兵士六人ノ隊ハ平原
 ニ通スル徑路ニ(五)ニ退キ其前路ニ複
 哨騎ヲ出ス而シテ士官東路ヲ取テ前面
 ヲ巡視シ左側ノ信地(五)ヲ通テ河岸ノ
 信地(五)ニ巡視ス晝間山頂(三)ニハ伍長

一負兵士三人ヲ置キ一ノ哨騎ヲ出メ
 市街ノ鐘樓ト交通ヲ為サシム夜ハ此
 信地ニ尚ホ九人ノ兵士ヲ増シ河岸
 ニ退キ路上ニ復哨騎ヲ出シ兼テ前面
 ヲ巡視ス
 若シ歩兵隊アラバ宜ク橋梁ノ如キハ
 其佐ヲ假テ防禦スベシ夜間ハ些少ノ
 歩兵ヲノ河岸ノ窪路中ニ潜伏セシム

凡ソ右ノ諸信地ノ線モ河ノ西岸ノ諸
 信地モ皆ナ只々用心ノ為ノニニ分配
 スルニ非ス實ニ守衛防禦ヲ以テ大眼
 目ト為スナリ而ノ是等ハ皆ナ号火ヲ
 ヲ用ユベシ其利少ナカラズトス

○
 太平無事ノ時衛兵ノ法度實則ヲ教ユ
 ルハ尤ノ兵士遊戯ノ法ニ過タル者ナ

士官ヲノ先ツ其住地ノ近傍カ又ハ能
 ヲ明知ル所ノ一二ノ土地ノ圖面ヲ
 取り敵ノ方角ヲ定メ其居家ヲ本營ト
 シ左右二三ノ村落ヲ我カ散營ト憶想
 セシム然ル片ハ我カ味方ノ位地ニ通
 スル道路自ラ之アルベシ是ニ於テ不
 意ニ其本營カ又ハ其散營ニ近迫シ来

ル者ハ如何ノ防クベキヤヲ考ヘシム
 彼レ馬ヲ馳セテ其諸衛ノ信地ヲ撰ミ
 其晝間ノ哨騎ノ為ニカ所及高キ地位
 ヲ索メ而メ后チ夜間巡視ノ路ヲ以テ
 諸衛ノ信地ヲ連脈シ其前面ニ置ル哨
 線ヲ以テ諸哨騎ヲ繋鏈ス
 其位置ノ方角ヲ諸方ニ轉シ以テ此分
 配ヲチス

右ハ實ニ教トナルベキ一ノ遊戯ニノ
宜ク宿營ノ年少士官ヲノ其朝野ノ時
之ヲ行ハシムベキ者ナリ且ツ精密ニ
至ラズ氏宜ク土地信地ノ圖ヲ引カシ
ノ以テ其運智ノ道ヲ熟鍊セシムベシ

衛兵要務終

知彼知己齋瓜生氏著目

英式步操新書增補千八百圖解 全八冊

演習軌範 全二冊

砲軍操法

姿勢教練 全一冊

中外貨幣度量考 全一冊

三軍內則 全二冊

富國基

衛兵要務

全一冊

戰地必用測地畧

全二冊

交道起源

門人山岡次郎太筆受

西洋新說蠶飼菓

門人出浦銑之助譯

佛氏病學各論

門人大野前田仙溪譯

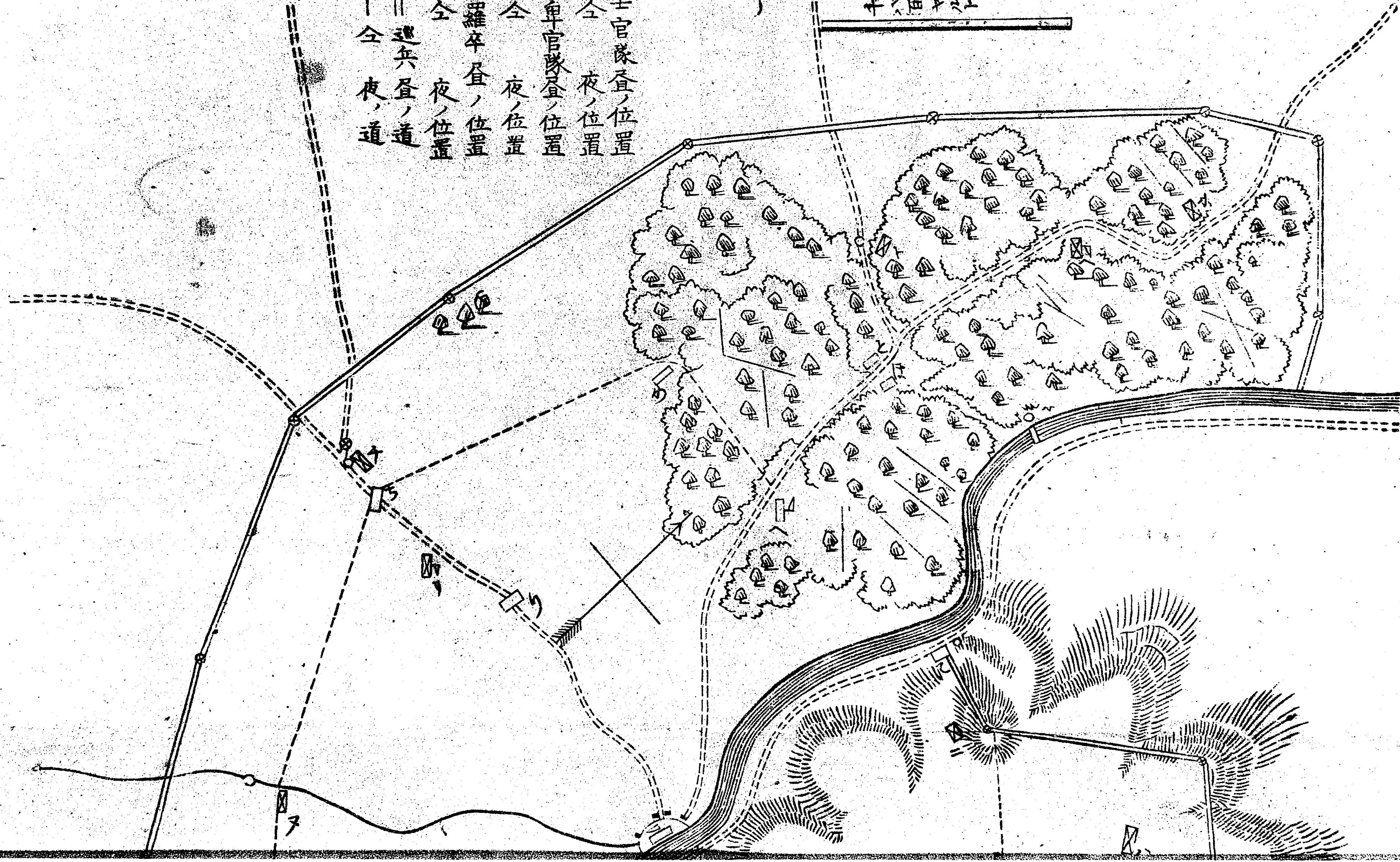
製本所平安書林

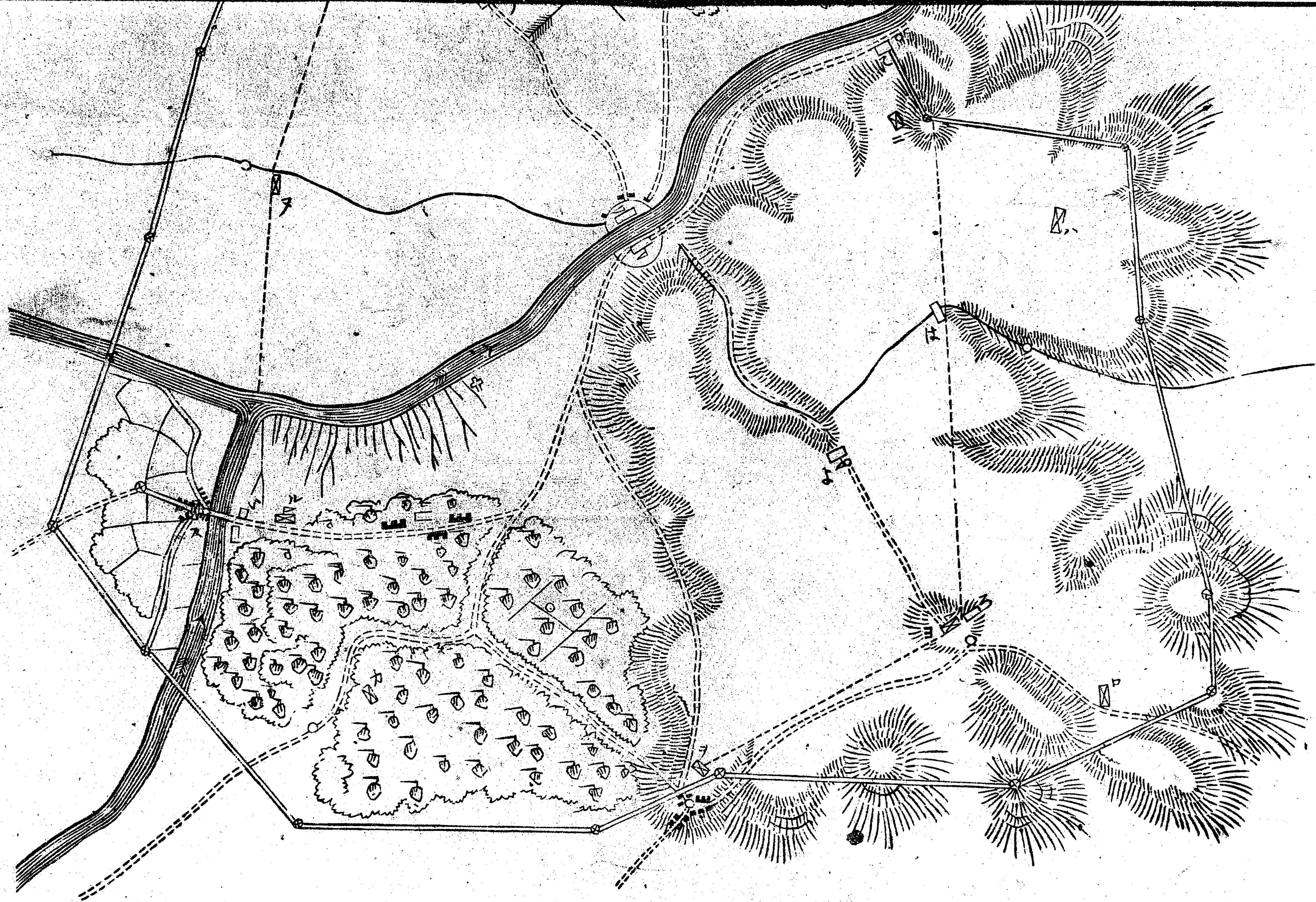
京極通
御池南

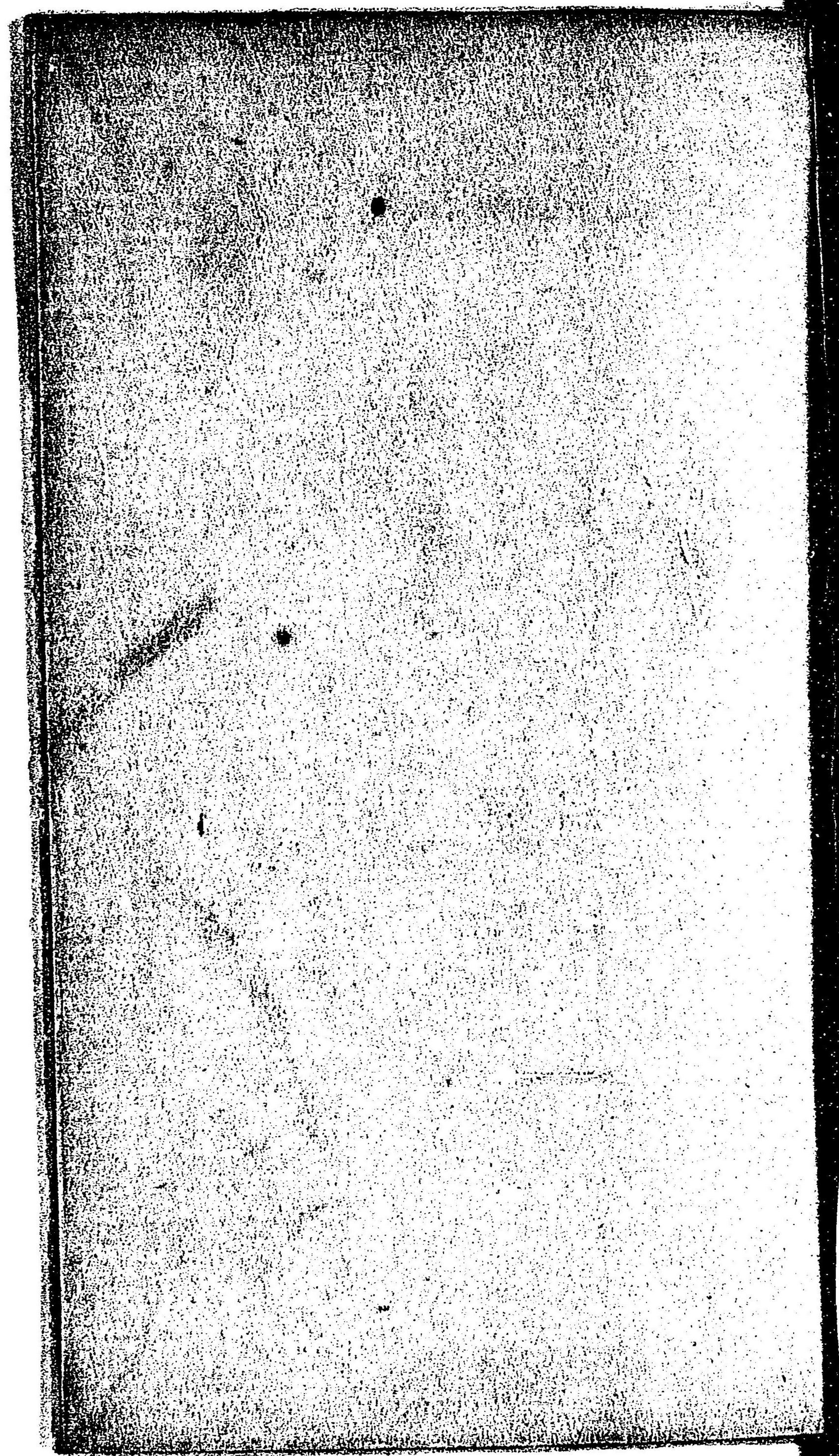
錢屋惣四郎

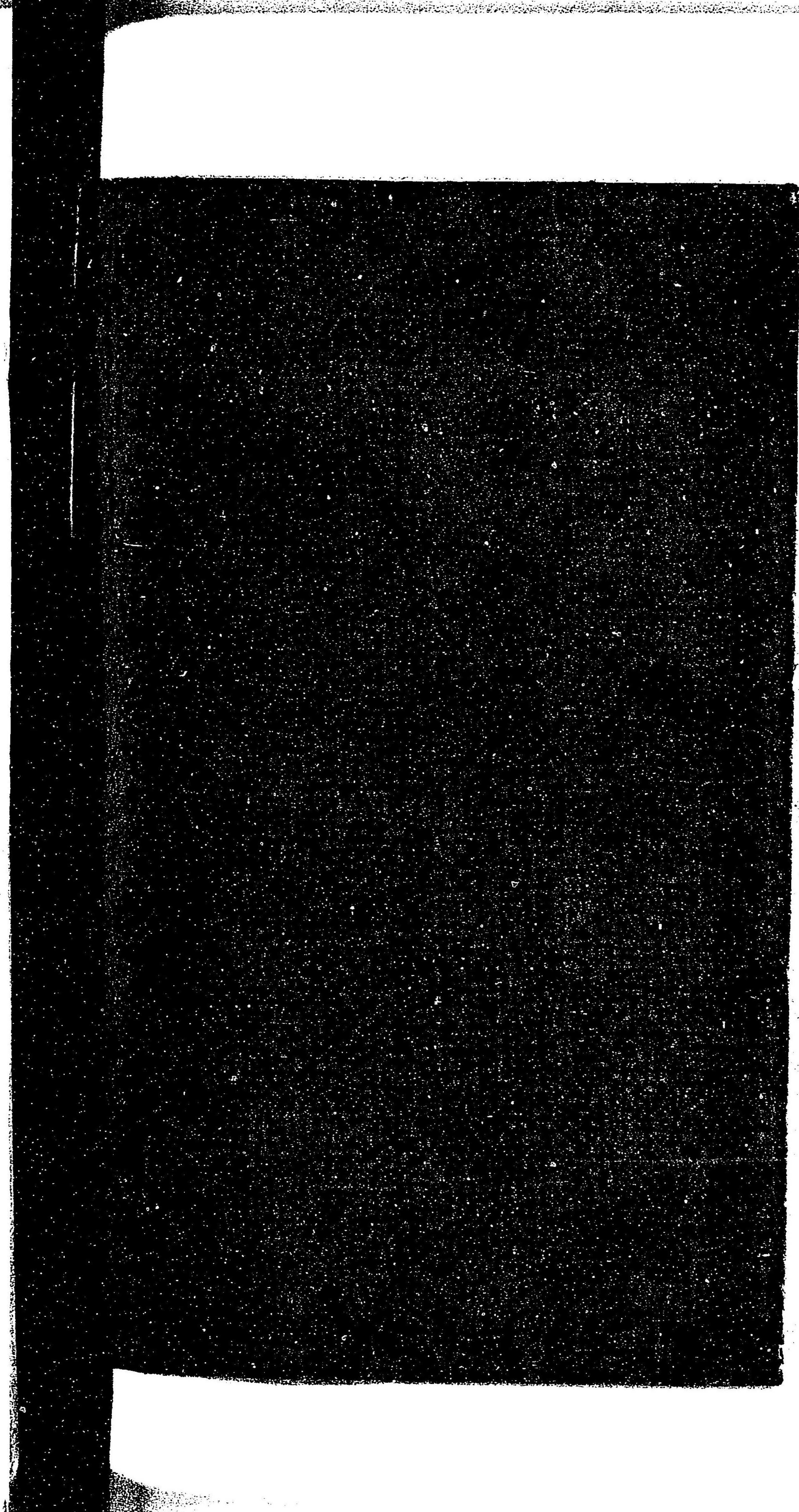
十六日

士官隊登、位置
 全 夜、位置
 車官隊登、位置
 全 夜、位置
 羅卒登、位置
 全 夜、位置
 運兵登、道
 全 夜、道









特58

945

051349-000-3

特58-945

衛兵要務

嘻都加拉連斯 (フィツ・カラレンス) / 著

M3

BFB-0041



卷58

945

